

Vol. 78

令和6年(2024年)8月1日号



いまばり

市議会だより

Contents

代表質問	2	議案の審議結果	8
一般質問	3	議会運営委員会・常任委員会視察報告 ..	10
一般質問・質疑	5	議会日誌	12
令和5年度全国市議会等からの視察状況 ..	5	表彰状の伝達	12
委員会審査	6		

令和6年度 一般会計補正予算
10億8,420万6千円 原案可決

今治市議会 HP
はこちら



6月定例会のあらまし



今治市議会
(会議録の閲覧と検索)

閲覧期間
令和6年9月上旬以降



YouTube
(今治市議会)

閲覧期間
令和6年8月31日まで

今定例会は、4日から24日までの21日間の会期で開催されました。4日の本会議では、議会運営委員会及び各常任委員会の委員長が、行政視察の報告を行いました。続いて令和6年度一般会計補正予算など、議案13件、報告6件、合わせて19件が提案されました。6日には、代表質問と、提案された議案に対する質疑を行い、7日、10日の2日間は、7名の議員が市政への一般質問を行い、理事者からの答弁を得ました。また、10日には委員会審査のため、提案された議案を所管の委員会に付託しました。

24日の本会議では、審査を行った各委員会の委員長報告の後、議案について採決を行い、いずれも原案のとおり承認及び可決しました。最後に市長の閉会挨拶を行い、今定例会を閉会しました。

代表質問

Q 近年、熱中症による救急搬送者数や死亡者数の急増を背景に、改正気候変動適応法が本年4月より全面施行。法改正では、熱中症の危険が高い場合に注意を促す「熱中症特別警戒情報」を法定化し、特別警戒情報発表中に、暑さを凌ぐ冷房完備施設を「クーリングシエルター」として市町村長が指定し、市民に一般開放することが規定された。本市では、熱中症により令和5年度で100名の方が救急搬送され、今年も極端な高温の発生により、熱中症リスクが高まることも危惧される。そこで、冷房設備が整備されている公共施設を市民に一般開放するクーリングシエルターの導入は、

熱中症対策について



権 興 会
(丹下大輔)

熱中症対策に有効と考えるが、導入に向けた見解を伺う。

A

クーリングシエルターは、特別な施設改修も不要でコストもかからず、短期間での導入が可能であり、非常に有効な熱中症対策である。

本市も熱中症特別警戒情報が発表される本格的な夏を迎える7月までに、まずは本庁及び支所庁舎等の市内公共施設を対象にクーリングシエルターの指定を行い、ホームページやSNS等で広く周知する等、特別警戒情報発表時に市民の避難施設として活用される準備を進める。加えて、店舗等、民間施設にも参加を呼びかけることで、熱中症から市民の命と健康を守るため、官民一体であらゆる手段を講じてまいりたい。

ほかの質問

・人口減少対策について
・(株)今治あきない商社について

6月定例会

代表質問

市長のパリ訪問について



創 政 会
(越智 忍)

Q パリで開催中の「丹下健三と隈研吾展―東京大会の建築家たち」の展覧会を訪問した目的と成果について

A

故丹下健三氏没後20年を迎える来年度に、このパリ展覧会の「凱旋帰国展」として今治市招致への想いをお伝えした。開催に前向きな発言を得たので開催に向けた準備をしっかりと進めたい。

Q

丹下健三を核とした建築家との関わりを生かした今後のまちづくりについて

A

本市には丹下健三先生を仰ぎ見る日本を代表する建築家伊東豊雄先生、原広司先生、隈研吾先生作品も存在しており、丹下健三建築群とこれらを有機的に結び、魅力あるまちの個性として磨き上げ、誇るべき財産となると思う。今治の未来を輝くものにするため新たな令和のまちづくりに向けたチャレンジを開始したい。



丹下健三さん建築物



加藤 明
(新生会)

今治市中長期財政収支見通しについて

支比率を構成する人件費について伺いをいたします。

A

本市におきましても、市民が真ん中の行政サービスを展開していくうえで、適正な人件費総額を維持しながら、如何にして必要な人材を確保し、職員の働き方を改善していくのかについての対応は、待ったなしの状況でございます。

Q 現在の今治市の財政状況は弾力性に乏しい状況が伺えます。もちろん、弾力性が乏しいということ、たちまち財政が危機的状況ということではありませんが、将来的に変化への対応が難しい事態が生じたり、維持管理が十分に行き届かない状態も起こりえます。今後そのような事態を起こさないためにも、また持続可能な自治体運営を目指す中、財政の弾力性を確保しておく事は必要なことだと思います。

そうした観点から、中長期財政収支見通しと今後の対応について伺います。まず経常収

行政DXが加速し、老朽化した公共施設の集約・統合の問題も顕在化するなかで、人口減少や国の制度改正など社会情勢の変化にも対応しながら、組織体制や職員定数をゼロベースで見直すこと、それを新たな定員適正化計画や中長期財政収支見通しにしっかりと反映させることが、人材の確保・育成、そして留置の観点からも、また、持続可能な行政運営のためにも、重要であると考えております。



山岡 健一
(権輿会)

子供の運動習慣形成と体力向上について

Q 学校の授業以外で児童生徒の運動・身体活動時間を増加させるためには、自らが楽しく継続できるお友達や家族と屋外での「遊び」の時間が大切だと思います。中学生までの運動習慣は生涯にわたる体力・運動能力等の基盤となる極めて重要な要素でありますので、現在取り組まれている公園整備と利用について伺います。

A

令和5年度より今治市の公園整備の全体計画を見直し「遊び場サテライト」の整備に着手いたしました。その内容は、旧今治市地区、玉川・朝倉地区、波方・

大西・菊間地区、島しょ部地域と市内を4つのエリアに分け、それぞれの地域特性に合わせた魅力ある公園を整備するというものです。市内のほとんどの公園には、思いきり体を動かすことができる広場があり、走り回ったり、柔らかなボールやフリスビーなどの遊びも楽しんでいただけです。また、公園検索アプリ（パークフル）で、近くどんな公園があるか、どんな遊具があるか、といった遊びができるか、トイレを含めてどんな施設があるのかを確認いただけます。子供たちや子育て世代の皆さんがワクワクするような公園を整備することで、もっと公園で遊びたい、家族や友達と一緒に出かけたいと思っていいただき、その結果として、子供たちの外遊びが促進されることを期待しております。



松田 澄子
(日本共産党)

岡山理科大学獣医学部について

Q 今年3月20日開学6年で獣医学科一期生が卒業されました。国家戦略特区により国内52年ぶり、四国初の獣医師養成学部は今治市は36億7千4百万円の土地の無償譲渡や県負担分も含め約93億2千万円の補助金など多額の支援を行ってきました。獣医保健看護学科は、4年制なので2年前に初めての卒業生がありました。今年2月の獣医師国家試験は114人中77人の合格でした。獣医学科一期生が卒業した今、今治市はどのように受け止めているのか伺います。

A 獣医学科一期生124人が巣立ち、在学中の3年余り、新型コロナウイルス感染症で行動が制限された期間もあるなか、77人が獣医師として活躍を始め、全国17獣医学部中5番目に多い結果で公務員獣医師の安定的な確保になると考えています。

Q 今年度の入学状況について伺います。

A 獣医学科145人、獣医保健看護学科67人合計212人志願倍率は獣医学科は2.1倍、獣医保健看護学科は3.2倍です。

Q 地域への経済波及効果について伺います。

A 平成29年度開学前の時点で年間約20億円と試算、令和2年12月議会での試算で年間約15億円の効果額でした。開学6年が経ち獣医学科一期生が卒業した今年度中の検証実施に向け、既に作業着手しています。



谷口 芳史
(公明党)

学校司書について

Q 子供たちが読書をする、活字に触れることは精神面の成長のため、読解力向上や考える力を養うためになり、適切な環境の学校図書館と専任の学校司書が重要な役割を果たします。そこで、本市に初めて一人配置された学校司書がどのような活動をされているのか、配置されたことによって学校図書館活動にどのような影響を与えているのかお聞かせください。また今後の小中学校への配置についてお考えをお聞かせください。

A 4月より小学校2校に兼任で1名配置しました。学校支援ボランティアと協力し、児童が利用しやすくしてい

ます。また、おすすめコーナーを作り、児童にとって楽しい居場所となり親しみやすくしています。授業でもゲストティーチャーとして参加し、本や資料を提示しながら読み聞かせをするなど、本と児童とが触れ合う場面も増加しています。相乗効果も出ており図書ボランティアの活動がより充実し読書活動の輪や地域とのつながりが広がっているとの声もあります。今後の配置については、今年度の状況を把握し前向きに捉えてまいります。広がりつつある図書ボランティアのネットワークを生かして効果的な取組を他校に展開していくとともに新たな人材の確保等にも尽力し学校司書の配置を拡充し今後も児童生徒の読書活動の促進を図っていききたいと考えております。

ほかの質問

- ・重層的支援体制整備事業について
- ・買物弱者について



上村 悦男
(直心会)

今治版ネウボラ拠点施設整備について

Q ネウボラ拠点施設整備のためにかかる費用の総額は、およそ幾らと見込んでいるのか。もし、算出できないのであれば、どの段階で施設整備費の総額を明らかにしていくのか。また、ネウボラ拠点施設の維持管理費は、年間どの程度かかると見込んでいるのか。

A 基本計画で示した施設整備費約71億円については、近年の物価高騰や人件費の高騰を踏まえて想定した建物本体の建設費となっている。なお、建物に付帯して、避難所としての防災機能や、再生可能エネルギーの活用など環境へ配慮するほか、外構や解体工事費等、現時点では不確定

要素が多く、また、物価高騰や働き手の不足が続く現状では、想定金額と大きく異なることが予測されるため、総額を明確に示せる段階ではない。また、施設の維持管理費についても、施設整備と連動して算出するので、現段階で示すことは困難な状況である。

こうしたことから、事業費の総額を示す段階については、業者選定アッドバイザリー業務において、諸室の整備水準などの建築計画をはじめ、開館時間や運営体制など各業務について要求水準を確定させたうえで、令和7年度中を目途に示せればと考えている。

Q 枝堀児童館などの公の施設は、今治市公共施設等総合管理計画に基づいてどのようにしていくのか。

A 枝堀児童館やばりっこ広場、発達支援センターなどについては、ネウボラ拠点施設に集約されることに伴い、施設の機能を廃止する予定としている。



永井 隆文
(公明党)

HPVワクチン接種について

Q キャッチアップ接種対象者への制度の周知について

A 子宮頸がんとHPVワクチンに関する情報をしっかりと市民の皆様へ届けることが市の責務であると認識している。接種対象の方には、広報いまばりやSNS、ホームページ等においてHPVワクチン接種のお知らせをするだけではなく、接種のメリット、デメリットが記載されたパンフレットを個別に郵送するなど様々な機会を捉えた周知に努め、接種の検討に役立てていただいている。接種がお済みでない方に対しては、毎年

はがきでお知らせを送付

ほかの質問

- ・スマートフォンを活用した健康づくりについて

し、希望される方が確実に接種できるよう、丁寧な情報発信に努めている。令和4年4月から開始されたキャッチアップ接種については、対象となる方に、今年度が自己負担なしで接種できる最終年度であることをお知らせしている。加えて対象となる方の年齢は17歳から27歳となっており、平日は学校に行っている、働いているという方も多くおられることから、県内で唯一の取組となりますが、今治市医師会の協力のもと、医師会市民病院において7月21日から2か月に1度、第3日曜日にHPVワクチンを接種できる日を設けている。健康はすべての源と言われる。今後もひとりひとりが輝く今治を創出するため、医療提供体制の充実や市民の健康づくりに全力で取り組んでまいります。



内山 葉子
(政常会)

住み慣れたまちで自分らしく生きるためのネットワークづくりについて

Q 他市を視察して参りました。スマートフォンと連携した見守りサービスを行っています。独居高齢者の遠隔診療、服薬指導、処方薬の配達も可能とのことでした。郵便局員の定期的な訪問による地域包括ケアシステムを構築されています。今治市の高齢化の推移はいかがでしょうか。

A 令和6年3月末時点での本市の人口14万8千925人のうち、65歳以上の高齢者数は5万3千575人で、高齢化率は36%。高齢化率、高齢者単身世帯数の割合も増加となっています。

Q 見守り体制に関する不安等の社会問題

題に対する本市の見解について、及び今治市見守りネットワーク事業の今後の踏み込んだ政策に対する見解について

A 現在、今治郵便局等9つの事業者と見守りネットワーク協定を締結し、日常の業務の合間で市民に対する「さりげない見守り」を行って頂き、何らかの異変を察知した場合に市に連絡、安否確認を行う体制を整えています。認知症高齢者施策として、認知症高齢者等見守りネットワークも展開しています。その他、民生児童委員等による見守り活動があります。約900世帯に見守り活動を実施することで、独居高齢者の見守り体制の強化を図っています。今後は費用対効果も検証しながら、更なる調査・研究を進め、多角的なネットワークづくりを行って参ります。

ほかの質問

- ・文化資源を活用した観光インバウンドのための環境整備について
- ・愛媛県学校給食会との関わり方について

質疑

6月6日の本会議において、理事者から提案された議案に対する質疑が次の事項について行われました。

発言者



上村 悦男
(直心会)

○議案第51号「令和6年度今治市一般会計補正予算(第3号)」について

1 歳出10款1項3目愛と心をつなぐ不登校対策事業費について

(1) こすもすの家移転改修工事について

2 歳出10款2項1目施設整備費及び歳出10款3項1目施設整備費につ

いて
(1) 空調設備導入支援業務委託料について

○議案第52号「今治市適応指導教室条例の一部を改正する条例制定について」

1 条例名等に用語「教育支援センター」を使用しない理由について

2 第3条の事業内容を変更した理由について

3 第3条第3項の用語「不登校問題」を変更しない理由について

4 第8条(通所等許可の制限)を追加した理由について



市議会ホームページへアクセスしてみませんか



市議会の活動をより詳細にお伝えするため、ホームページを開設しています。ぜひアクセスください。

アドレス <https://www.city.imabari.ehime.jp/gikai/>

令和5年度
全国市議会等からの
視察状況

今治市が行っている左記の事業について、他市の市議会議員等の視察をお受けしました。

サイクリングでの観光振興 11件

学校給食(地産地消) 8件

今治市クリーンセンター「バリクリーン」 7件

高橋浄水場「バリウォーター」 5件

食と農のまちづくり 3件

移住・定住施策 3件

デマンド交通 2件

その他

今治版ネウボラの取組、消防ドローン隊など 10件

合計49件(49団体) 359人

委員会審査

総務委員会

今治市市税条例の一部を改正する条例制定について

個人住民税の定額減税に伴う措置等、地方税法の改正に伴い、所要の改正をしようとするもの。

はしご車製造請負契約の締結について

中央消防署に配備のはしご車を老朽化に伴い更新整備しようとするもの。

財産の取得について（高規格救急自動車）

西消防署菊間分署に配備の高規格救急自動車を老朽化に伴い更新整備しようとするもの。

今治市辺地総合整備計画の変更について

辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する

法律第3条第8項の規定により、今治市辺地総合整備計画を変更することについて議会の議決を求めるもの。

教育厚生委員会

今治市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について

地方税法施行令の改正に伴い、所要の改正をしようとするもの。

今治市適応指導教室条例の一部を改正する条例制定について

施設の名称及び位置を変更し、その他所要の改正をしようとするもの。

今治市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の改正に伴い、所要の改正をしようとするもの。

今治市小中学校一括LED化事業（ESCO事業）に係る契約の締結について

今治市小中学校一括LED化事業（ESCO事業）に係る工事一式

財産の取得について（空調用熱源設備）

今治市総合福祉センター空調用として空調用熱源設備を購入しようとするもの。

財産の取得について（校務用パソコン）

今治市立小中学校における事務作業環境の整備のため校務用パソコンを購入しようとするもの。

建設水道委員会

財産の取得について（コンテナ用リフト）

今治港におけるコンテナ荷役作業のため、コンテナ用リフトを購入しようとするもの。

市道の廃止について

道路法第10条第1項の規定により、平山4号線等2路線を廃止するもの。

市道の認定について

道路法第8条の規定により、喜田村浜前4号線等11路線を市道に認定するもの。

予算特別委員会

定額減税補足給付金給付事業費

低所得世帯支援給付金給付事業費（令和6年度に新たに住民税非課税となつた世帯・住民税均等割のみ課税世帯）

低所得世帯支援給付金給付事業費（子育て世帯加算）

17億400万円

エネルギー・食料品価格等の物価高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい所得水準の世帯への支援措置を講じるもの。

結婚新生活支援事業

4331万円

結婚に伴う新生活をスタートするに当たり必要となる一時的費用を支援することで結婚しやすい環境を整えるもの。

出産サポートタクシー利用助成事業

800万円

妊産婦の健診等に要する交通費を助成することと健やかな妊娠・出産を支援するもの。

避難施設吊り天井点検等業務

250万円

指定一般避難所の吊り天井の緊急点検を実施するもの。

孤立地域における通信設備の強化

270万円

大規模災害時等において孤立地域が発生した際に迅速な対応が行えるよう、通信困難地域の情報通信を可能とするスターリンクを導入するもの。

亀老山展望公園周辺整備

3500万円

世界的な建築家隈研吾氏設計の展望台を含むしまなみ海道随一の眺望を誇る「亀老山展望公園」エリア一帯について更なる誘客促進を図るため、魅力向上策の第一段階として、展望台の部分改修と駐車場等の周辺整備を一体的に行うもの。

「今治城」を活用したプレミアムなスポーツ文化ツーリズム事業

4000万円

「スポーツ文化ツーリズムアワード2023」において本賞を受賞した取組について、合併20周年を契機にブラッシュアップし地方におけるインバウンド向けのプレミアム体験コンテンツの実証を行うもの。

アクセラレーティング導入事業

130万円

「発進時において時速20キロに到達するまで5秒

かける」アクセル操作法を習慣化する。アクセルトレーニングを市公用車に導入することで、ガソリン消費量削減（脱炭素化）と職員の運転習慣改善を図るもの。

（2）施設整備予定地の地盤調査等業務

1100万円

基本計画に基づく施設整備用地の地盤調査等を実施するもの。

全ての小中学校において、特別教室への空調設備の導入支援業務を実施するもの。

新型コロナウイルス接種費

3億1200万円

令和6年度より定期接種に位置づけられた「新型コロナウイルスワクチン」の接種にかかる費用。

FC今治サッカー専用スタジアム建設事業費補助金

4273万4000円

ふるさと納税制度を活用した、今治市「FC今治サッカー専用スタジアム建設」プロジェクトに基づき、スタジアム建設事業に要した費用の一部を助成するもの。

こすもすの家移転改修工事

2430万円

適応指導教室「コスモスの家」を移転し、新たに「こすもすの家」を設置するもの。

今治版ネウボラ拠点施設整備事業

（1）事業者選定アドバイザー業務

1700万円

5月に策定した（仮称）今治版ネウボラ拠点施設整備基本計画に基づき、施設整備に向けた事業者選定の準備を進めるための発注支援業務を実施するもの。

小中学校のバリアフリー化

1億2120万円

小学校8校、中学校3校のバリアフリー化の整備を行うもの。

小中学校特別教室空調設備設置事業

3500万円

介護基盤整備事業

4913万3000円

特定非営利活動法人ケア・サポート（シーサイドきくま）及び株式会社シルバークエアサービス（グループホームひまわり）の介護職員宿舎施設整備を支援するもの。



市議会を傍聴してみませんか

－市政と議員の活動を知るよい機会です－

本会議の傍聴

本会議の当日、市役所本館市民課裏入口から2階へお上がりください。受付で住所・氏名などを御記入の上、傍聴席にお入りください。定員は80人です。

委員会の傍聴

委員会の開会10分前までに市役所本館3階の議会事務局で受付をし、委員会の許可を得て傍聴できます。傍聴の定員は、1委員会5人となっています。傍聴希望者が定員を超える場合は、抽選になります。



市議会傍聴席案内図

令和6年6月定例会 議案の審議結果

番 号	件 名	結 果
		6月4日議決
発議 1	今治市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
		6月24日議決
議案 63	専決処分について ・今治市市税条例の一部を改正する条例制定について ・今治市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について ・令和6年度 今治市一般会計補正予算(第1号) ・令和6年度 今治市一般会計補正予算(第2号)	原案承認(全会一致)
議案 51	令和6年度 今治市一般会計補正予算(第3号)	原案可決(全会一致)
議案 52	今治市適応指導教室条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
議案 53	今治市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決(全会一致)
議案 54	はしご車製造請負契約の締結について	原案可決(全会一致)
議案 55	今治市小中学校一括LED化事業(ESCO事業)に係る契約の締結について	原案可決(全会一致)
議案 56	財産の取得について(空調用熱源設備)	原案可決(全会一致)
議案 57	財産の取得について(コンテナ用リフト)	原案可決(全会一致)
議案 58	財産の取得について(高規格救急自動車)	原案可決(全会一致)
議案 59	財産の取得について(校務用パソコン)	原案可決(全会一致)
議案 60	今治市辺地総合整備計画の変更について	原案可決(全会一致)
議案 61	市道の廃止について	原案可決(全会一致)
議案 62	市道の認定について	原案可決(全会一致)
報告 2	専決処分について ・今治市長等の損害賠償責任の免責額を定める条例の一部を改正する条例制定について ・損害賠償額の決定及び和解について	受 理
報告 3	繰越計算書の提出について	受 理
報告 4	繰越計算書の提出について(水道事業会計)	受 理
報告 5	繰越計算書の提出について(工業用水道事業会計)	受 理

番 号	件 名	結 果
報告 6	繰越計算書の提出について（下水道事業会計）	受 理
報告 7	法人の経営状況について ・一般財団法人今治文化振興会 ・公益財団法人河野育英会 ・公益財団法人檜垣育英会 ・公益財団法人加根又育英会 ・一般財団法人今治勤労福祉事業団 ・一般財団法人今治市多目的温泉保養館管理公社	受 理



令和6年6月定例会 請願・陳情の審議結果

【今議会に提出されたもの】

番 号	件 名	結 果
請願第12号 (R6.6.4受理)	核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書提出に関する請願	不採択（賛成少数）
請願第13号 (R6.6.4受理)	中小業者の家族従業者の人権保障のため「所得税法第56条の廃止または見直しを求める意見書」の提出に関する請願	不採択（賛成少数）
陳情第15号 (R6.6.4受理)	加齢性難聴者への支援に関する陳情について	継続審査
陳情第16号 (R6.6.4受理)	加齢性難聴者への補助器具購入に対する公的補助制度創設を求める陳情について	継続審査

議案等に対する賛否状況 令和6年第3回定例会（令和6年6月24日議決分）

賛否の分かれた案件の賛否状況を記載しています。

議員名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	20	21	22	23	26	27	28	29	30
番号	内山葉子	上村悦男	丹下大輔	黒川美樹	壺内和彦	森本真博	永井隆文	松田澄子	達川雄一郎	羽藤謙一	山岡健一	野間有造	藤原秀博	越智忍	木村文広	渡部豊	谷口芳史	近藤博	矢野雄嗣	森京典	越智豊	中村卓三	平田秀夫	加藤明	寺井政博	松田敏彦	堀田順人
請願 12	○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
請願 13	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

※ ○：賛成 ×：反対

※ 藤原秀博議員は、議長職のため表決に加わっておりません。

議会運営委員会・常任委員会視察報告

4月から5月にかけて議会運営委員会・常任委員会では行政視察を実施しました。その内容を皆様にご報告いたします。

■議会運営委員会（4／23から4／25）

議会のICT化について視察。

東京都渋谷区

渋谷区議会では、全議員にタブレットを貸与し、資料の電子化及び情報共有ツールとして活用している。理事者は、事前に会議資料をクラウド上にアップロードし、各議員は会議中に電子化資料を閲覧、必要に応じてメモを取ることができる。モニターを本会議場、各委員会室等に設置して活用している。本会議での一般質問では、議会運営委員会の事前許可を得ることで、タブレット等を利用して写真や動画をモニター投影し発言することが可能である。また、本会議場には電子表決システムを配備し、議席上の表決ボタンにより意思表示が可能となっている。

秋田県湯沢市

湯沢市議会では、全議員にタブレットを貸与し、ペーパーレス会議システム及びグループウェアを導入している。平成30年度の第2回定例会より、紙資料の配付をなくし、ペーパーレス会議システムのみで運用を開始している。資料をデータ化することにより、コピー用紙等のコスト削減、紙資料の携帯、整理が不要となった。また、オンライン会議については、委員会条例の一部改正等により、災害の発生や新型コロナウイルス感染拡大等のやむを得ない事由の場合に、オンラインで出席することが可能となっている。



秋田県湯沢市での視察の様子（4／24）

■総務委員会（5／8から5／10）

長野県

長野県は、職員が「学びと自治の実践者」として、地域に飛び出し、地域や社会に貢献する活動へ積極的に参加するとともに、活動から得た「学び」を県政に活かすため、「地域に飛び出せ！社会貢献職員応援制度」を運用しています。活動をした職員からは、生産者がよいものをより安く消費者に届けようとする姿勢、効率的かつ成果にこだわる働き方に触れ、行政サービスの意識やコスト意識の向上につながったという意見もあり、今後も多くの県職員が県民の活動に協力し、そして行政と住民、あるいはNPO、企業とのいろいろな意味での連携、協力がしっかり進むように取り組んでいくとのことでした。

富山県

富山県では、富山県職員人材育成・確保基本方針を策定し、テレワークの導入や時差出勤制度等、時間や空間の制約にとらわれることなく働くことができる取組みを拡充し、柔軟で多様な働き方を推進しています。また、それらの取組に加え、令和5年6月からは、勤務終了後、翌日の勤務開始までの間に原則11時間以上の休息時間を確保する「勤務間インターバル試行制度」を導入し、しっかり休む、きちんと働く職場環境づくりを進めて、組織の生産性の向上を図り、県民サービスの向上を目指しているとのことでした。



長野県議会での視察風景（5／8）

■教育厚生委員会（5/13から5/15）

三重県津市

児童生徒が学校や関係機関との繋がりを持ち続ける環境整備を目的に「子ども教育センター」を三重大学教育学部附属学校に設置しており、三重大学は主に学習支援、施設の提供、専門的人材の育成による教育支援、津市教育委員会は、センター内の教育相談室・教育支援センター・通級指導教室の運営を行っておりました。学校心理士等の専門員も常駐しており、関係機関が密接に連携して、子どもの居場所づくりと相談体制の充実を図っておりました。

鳥取県鳥取市

鳥取市では、「鳥取市フリースクール利用料助成事業」を令和3年度から行っており、フリースクールやサポートルームに通うための各種経費を補助し、保護者への経済的負担軽減と多様な教育機会確保の一助となっております。また、不登校傾向にある児童生徒が学校以外の学びの場や、居場所を選択できる体制が構築されており、今治市における不登校対策にとりましても、大きな道標を得ることが出来ました。



鳥取市での視察の様子（5/14）

■産業環境委員会（5/13から5/15）

熊本県水俣市

水俣市では、市民ボランティアによるリサイクル推進員活動や、リサイクル関連企業の誘致、低炭素社会の実現に向けた水力由来の再生可能エネルギーの導入、水俣環境アカデミアによる産学官連携の環境まちづくり等、持続可能な地域社会づくりが行われており、環境モデル都市に認定、SDGs 未来都市に選定されている。

長崎県諫早市

諫早市では、農業者が農業経営の安定化や農村地域の活性化を目指して、自らの発想で新しい取組を行うことを応援する農業・農村活性化支援事業を実施している。国や県の補助事業の対象とならないチャレンジの芽を育てていく諫早市オリジナルの補助事業であり、アボカドやマカダミアナッツの試験栽培、特産みかんを使用した商品のパッケージデザインリニューアルによるブランド力の向上など、若手や女性グループ等の特色を生かした取組につながっている。



長崎県諫早市での視察の様子（5/14）

■建設水道委員会（5/14から5/16）

静岡県

清水港の港湾振興及び管理・運営に関して説明を受けた。清水港は、駿河湾の西岸に位置する国際拠点港湾で、静岡県内外の物流拠点となっている。トラックドライバーの2024年問題解決に向け、車両専用フェリー「RORO 船」の利用拡大等に取り組んでいる。一方、昨年以降クルーズ船の寄港が急増していることについては、船社訪問や寄港地としての魅力をPRするファムトリップの実施等の積極的な誘致活動、寄港時の官民でのおもてなしを長年継続してきたことが要因ではないかとの分析があった。説明を受けた後、県所有の巡視艇に乗船し、着岸中のクルーズ船やコンテナターミナル等を海上から視察した。

愛知県名古屋市

「名城水処理センター」を訪問し、合流式下水道の水質浄化について担当者から説明を受けた。合流式下水道では、雨天時に処理能力を超えると、汚水を含んだ雨水が未処理のまま直接河川等に放流されてしまうという問題がある。同センターでは、令和元年に「高速ろ過施設」を導入しており、雨天時の流入水を特殊ろ材に通し、浮遊物質やごみを除去する「ろ過工程」と、ろ材の中に溜まった浮遊物質等を、ろ過水を利用して洗浄し放流する「洗浄工程」で処理することにより、水質汚濁防止が図られているとの説明があった。その後、施設見学を行い、下水処理の一連の流れについて理解を深めた。



静岡県での視察の様子（5/14）

議会日誌



令和6年2月

26日 達川副議長愛媛県

過疎地域協議会定期総会出席のため松山市へ出張

29日 藤原議長、達川副

議長就任挨拶のため広島県尾道市へ出張

3月

5日 藤原議長、達川副

議長就任挨拶のため広島県呉市へ出張

6日 藤原議長、達川副

議長就任挨拶のため松山市へ出張

25日 会派代表者会議

広報広聴特別委員会

4月

10日 広報広聴特別委員

会

11日 藤原議長、達川副

議長愛媛県市議会議長会春季定期総

15日

会出席のため西予市へ出張

達川副議長、矢野、平田議員母子健康手帳のデジタル化について青森県弘前市へ、青森県観光戦略について青森県青森市へ調査のため17日まで出張

18日

藤原議長弘前さくらまつり出席のため青森県弘前市へ19日まで出張

20日

藤原議長第81回尾道みなと祭姉妹都市交流式典出席のため広島県尾道市へ出張

23日

藤原議長、達川副議長、議会運営委員会行政視察のため東京都渋谷区、秋田県湯沢市へ25日まで出張

24日

徳島県阿南市議会議員視察

17日

藤原議長、達川副議長第86回四国市議会議長会定期総

15日

新居浜市議会議長、副議長就任挨拶の

13日

教育厚生委員会行政視察のため三重県津市、鳥取県鳥取市へ15日まで出張

22日

会出席のため高知県高知市へ5月1日まで出張

2日

議会運営委員会総務委員会行政視察のため長野県長野市、富山県富山市へ10日まで出張

8日

建設水道委員会行政視察のため静岡県静岡市、愛知県名古屋市へ16日まで出張

14日

産業環境委員会行政視察のため熊本県水俣市、長崎県諫早市へ15日まで出張

15日

栃木県大田原市議会議員視察

17日

埼玉県富士見市議会議員視察

20日

ため来局

藤原議長全国温泉

協議会会計監査、

正副会長・監事会

議、第104回役員会、第53回総会、全国市議会議長会第100回定期総会、石油

基地防災対策都市

議会協議会第90回

総会出席のため静

岡県熱海市、東京

都へ23日まで出張

越智(忍)、木村、松田(敏)議員道路維持管理システムについて北海道北見市へ、網走市移動型医療サービス推進事業について北海道網走市へ、「外から稼ぐ力」の強化について北海道釧路市へ調査のため25日まで出張

感謝状

〇評議員

木村 文広 議員

表彰

〇四国市議会議長会

〇議員在職28年以上

寺井 政博 議員

〇議員在職24年以上

表彰状の伝達

全国市議会議長会、

四国市議会議長会から、次の議員に表彰及び感謝状が送られました。

全国市議会議長会

表彰

〇議員在職25年以上

平田 秀夫 議員
近藤 博 議員

〇議員在職15年以上

越智 忍 議員
藤原 秀博 議員
野間 有造 議員
山岡 健一 議員

感謝状

〇評議員

木村 文広 議員

四国市議会議長会

表彰

〇議員在職28年以上

寺井 政博 議員

〇議員在職24年以上

中村 卓三 議員
矢野 雄嗣 議員

「市議会だより」のアプリ配信



マチイロ

マチイロ

検索

無料アプリ「マチイロ」を利用してスマートフォンなどで閲覧できるようになりました。

※アプリは無料で利用できますが、所定の通信料がかかります。

広報広聴特別委員会

委員長	木村 文広
副委員長	内山 葉子
委員	黒川 美樹
委員	永井 隆文
委員	野間 有造
委員	中村 卓三
委員	平田 秀夫
委員	松田 敏彦



今治市議会だより Vol. 78
令和6年8月1日号

発行 今治市議会議員 今治市別宮町一丁目4-1 TEL 0898-36-1580 FAX 0898-36-1582
編集 広報広聴特別委員会

ホームページ https://www.city.imabariehime.jp/gikai/

ホームページ https://www.city.imabariehime.jp/gikai/



「今治市議会」ホームページ